

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じた意思表示の機会の促進	2択選択やおもちゃスイッチなどのATを活用した支援をほぼすべての職員が取り入れている。スイッチの押し方などを工夫しながら参加できている。	OTを中心としてATの活用には理解を深める必要があるため、適宜勉強会を開催している。また、困ったときにすぐに相談できるため日々コミュニケーション方法を模索しながら実践している。
2	活動内容の充実	週替わりの活動や毎月図書館に大型絵本などを借りて読み聞かせを行っている 職員1人ひとりが離床を意識した支援ができる	活動の振り返りの時間を設けることができないため、実施状況のアセスメントを行えるよう取り組んでいく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアルや感染対策マニュアルなどの保護者向けの周知	マニュアルとして作成しているが、家族向けのお知らせは作成できていない	新規契約時、保護者会などの機会を設け、周知できるよう働きかけていく。
2	保護者同士の交流の機会	ご家族それぞれの交流の持ち方が異なるため、事業所のイベントとして行っていない	交流会の取組みかたを改めて検討し、参加できない方には広報等を用いて周知をしていく
3	車椅子や1人あたりの療養場所の選定等でスペースが限られている	学校の長期休みになると、時間帯が被るためスペースの確保が難しい	施設内の物品の置き場所等を都度工夫していく